

# 焼津ロータリークラブ会報



会長テーマ「奉仕と親睦を究め、すべての活動に参加しよう」

<b>会長</b>	村田 昌弘	<b>会長E</b>	清水 誠一	例会日／毎週木曜日12:30～13:30
<b>幹事</b>	村松 英和	<b>副幹事</b>	岩田 州生	例会場／焼津グランドホテル
				事務所／静岡県焼津市三ヶ名1671番地 ヤマキンビル302号室

第3085回例会(第25回) 2026年3月5日(木) 昼食:12:00 点鐘:12:30

移動例会 例会場：焼津四川飯店  
 司会 幹事 村松 英和 君  
 ロータリーソング斉唱 ソングリーダー 水野 芳康 君

♪奉仕の理想

クラブの戦略的優先目標の朗読及び四つのテスト  
 職業奉仕委員会 見原 健司 君

ゲスト 株式会社静岡新聞社 読者プロモーション局 読者企画部  
 柳澤 亜弓 (やなぎさわ あゆみ) 様

## 📅 会長挨拶 会長 村田 昌弘 君

先週は、例会は休会でしたが、グローバル補助金事業の贈呈式、地区補助金事業の贈呈式と今年度の焼津ロータリークラブの大きな事業が、2つ開催されました。

自分は、タイから戻る途中で、地区補助金事業の贈呈式には間に合いませんでしたので、後ほど報告を伺いたいと思います。

また、タイでの贈呈式については大畑国際奉仕委員長より報告があると思いますが、今回もRat Branaロータリークラブの皆さんには大変お世話になりました。

自分たちは、25日の贈呈式の前日の24日の午後にタイに着きましたが、空港まで会長、直前会長、パスト会長の3人で出迎えてもらい車でホテルまで送っていただきました。翌日も朝、ホテルに車を回してもらい病院への往復を快適に移動することができました。

贈呈式は、病院の院長はじめ関係者、3350地区のガバナーをはじめ近隣の20クラブくらいのメンバーが祝福に訪れ、総勢100名ほどの人数で盛大に行われました。

皆さんからもこの事業は大成功だったとの言葉もいただきました。

当初、このグローバル補助金事業については自分自身、本当にやるのって感じで躊躇しておりましたが、大畑国際奉仕委員長、渡仲ロータリー財団委員長には一年かけて連絡調整や財団への申請等、大変な時間と労力を使って進めていただいたことに感謝いたします。

今回のこの交流を無駄にすることなく、持続可能な限り継続していくことがグローバル補助金事業の目的の一つでもあると思いますので、これからもこの交流を深めていければと考えております。



自分自身、焼津ロータリークラブの会長という立場であれば、多分、このような経験もできなかったと思いますので、改めて感謝申し上げます。  
以上、会長挨拶とさせていただきます。



## 📅 理事会報告 幹事 村松 英和 君

①持回り臨時理事会にて3月19日新旧合同クラブ協議会を行う事が決定しました。対象者は本年度理事役員委員長・次年度理事役員委員長予定者、入会3年未満の会員になります。



## 幹事報告

幹事 村松 英和 君

- ①近隣クラブより例会変更通知回覧します。
- ②4月の例会プログラムを配布しました。



## 副幹事報告

副幹事 岩田 州生 君

- ①次週例会後13時40分から第3回次年度理事会を開催します。次年度役員理事予定者の方の出席をお願いします。



## 委員会報告

国際奉仕委員会 委員長 大畑 邦明 君

### 「グローバル補助金事業報告」

7年ぶりとなるグローバル補助金事業の贈呈式に行っていました。一緒に現地へ行った有志の皆様は、村田会長、渡仲君、諸田君、西野君、岡村一輝君です。勇気ある有志の皆さんに、ぜひ拍手をお願いいたします。贈呈式には、先方の病院の院長をはじめ、医師や看護師、近隣のロータリークラブのメンバーなど、約100名が集まり、盛大に行われました。私たちはラットブラナーロータリークラブを通じて、バンコク郊外にあるコミュニティ病院「バンチャック病院」へ麻酔器を贈呈しました。これは、この地域で多くの病氣や怪我の治療に役立ち、今後、何万人もの命を救うことにつながる事業だと実感しております。これも、このメンバー、そして皆様のご支援があってこそ実現できたことだと思います。今後も持続可能な形で、どれだけ多くの患者さんを支えることができるかを見守りながら、ラットブラナーロータリークラブとの交流も深め、活動を続けていきたいと思っております。本当にありがとうございました。皆様お疲れさまでした。

社会奉仕委員会 委員長 鈴木 啓央 君

### 地区補助金事業実施について

先日、出産施設「あかつき」へのエアコン付け替えに対する地区補助金の贈呈式を行いました。当クラブからは、村松幹事、清水会長エレクト、村松ロータリー財団委員会副委員長、そして私、松本君、柴田亜弓君の計6名で出席しました。「あかつき」はウェルシップのすぐ隣にあり、さまざまな障害をお持ちの方が職業訓練を行い、社会参加のきっかけをつくる施設です。食品を扱う作業が多いため、衛生面から窓を閉めた状態で作業を行う必要がありますが、エアコンが老朽化し、空調が十分に効かない状況でした。そこで今回、地区補助金を活用し、エアコン取り替えの一部として贈呈させていただきました。当日は、施設の職員の皆さんと通所されている皆さんが集まる時間に合わせて贈呈式を行い、感謝のお言葉とともに、施設で作られているクッキーをいただきました。3箱いただきましたので、ご希望の方はお持ち帰りください。ありがとうございました。



職業奉仕委員会 委員長 塩川 彰 君

### 講師派遣について

6日に企業の講師派遣で、杉本昭君が焼津市立豊田小学校で、いろいろお話をします。

### 講師派遣について

3月の6日の金曜日、講師派遣で、杉本昭君が3月6日金曜日、午後1時半から豊田小学校で職業卓話を行います。



## スマイル報告

親睦活動・スマイル委員会

委員長 奥山 光浩 君

村田 昌弘 君

グローバル補助金事業のタイでの贈呈式が盛大に行われ、無事に帰国する事ができました。皆様から協力頂いたスマイルの資金を元に沢山のお土産をタイの皆様配る事ができました。ありがとうございました。



## 出席報告

	会員数	出席数	出席率	2月12日 M-UP	2月12日 確定 出席率
3月5日	56(55)	43名	78.18%	5名	60.04%



## メイクアップ

仲野 和則 君 (理事会)  
 倉嶋 伸康 君 (理事会)  
 永田 貴三 君 (委員会)  
 服部 豪人 君 (委員会)  
 横山 敦史 君 (静岡日本平RC)

## 卓話

卓話者 株式会社 静岡新聞社  
読者プロモーション局 読者企画部  
柳澤 亜弓 様

演題 「地域情報でつかむビジネスチャンス  
静岡新聞活用法」



静岡新聞の役割と効果的な活用方法について卓話を頂きました。

新聞は単なる習慣として読むのではなく、地域に根ざした情報を仕事や生活に役立てる視点で活用してほしいとの説明。

特に、20代・30代の若い世代は新聞に触れる機会が少なく、社員教育の観点からも新聞活用が重要である。

新聞を読む意義として、社会への関心や知識の幅が広がり、結果として学力や思考力の向上にもつながることが紹介された。

また、地方紙が衰退した地域では、行政監視機能の低下や住民の政治的無関心、社会の分断が進むとの説明があり、地域紙の存在意義が強調された。

加えて、インターネットやSNSでは、利用者の関心に偏った情報ばかりが表示される「フィルターバブル」の問題があるため、新聞を含め複数の情報源を持つことが重要であるとのこと。

静岡新聞の特徴として、県内22支局・約200人の体制で地域密着の取材を行っており、県内政治・経済・人事・自治体予算・地域企業・スポーツなど、地元に関する詳細で信頼性の高い情報を提供している点が紹介された。

特に、4面の「政治静岡」、9面の「経済静岡」、地域面などは、地域行政の動きや企業情報、人事情報を把握するうえで有効であり、ビジネスの会話や新規開拓のきっかけにもなるとの説明があった。

新聞の具体的な読み方としては、「1日10分でよい」「一面を中心に、見出しと写真を見て、気になった記事だけ冒頭文を読む」という方法が示された。

新聞記事は冒頭に要点が整理されているため、短時間でも効率的に要点を把握できると説明された。

また、記事の1文目が「～と発表した」であれば発表ベース、「関係者への取材で分かった」であれば独自取材であるため、情報の性質を見極めることも大切であると述べた。最後に、静岡新聞には地域社会を支える情報が数多く掲載されており、日々の業務や地域理解に直結する有用な媒体であること、また社員や若手世代にも新聞活用を広げてほしいとの呼びかけがあった。

参加者に対し、グループラインで送付されたアンケートへの協力依頼があった。

## グローバル補助金事業の贈呈式の様子



## 地区補助金事業の贈呈式の様子



## 焼津市立豊田小学校 講師派遣

